

令和6年度 校長だより 第2号

1 新年度が始まって一か月

今年度も、時間の許す限り校内を歩き回り、授業や部活、様々な取り組みの様子を写真に撮って、学校HPのブログで紹介させていただいています。

1年生は、緊張した面持ちで臨んだ入学式から一か月が過ぎ、高校生活に慣れ科学技術高校生らしくなってきたと感じます。2年生は、後輩が到来、頼もしい上級生に成長しています。3年生は、インターハイ等の大会に全力を注ぎ、進路実現に向けて真剣に取り組んでいることが伝わってきます。『時間は有限、夢は無限』、一日一日を大切にしていきましょう。



2 「六つの精進」

最近読んだ本に書かれていた内容の一部を紹介したいと思います。

心を磨く指針として、次のような「六つの精進」が大切ではないかと考えてきた。

① 誰にも負けない努力をする

人よりも多く研鑽する。また、それをひたむきに継続すること。不平不満を言うひまがあったら、1センチでも前へ進み、向上するように努める。

② 謙虚にして驕らず

「謙は益を受く」という中国古典の一節のとおり、謙虚な心が幸福を呼び、魂を浄化させることにもつながっていく。

③ 反省ある毎日を送る

日々の自分の行動や心のありようを点検して、自分のことだけを考えていないか、卑怯な振る舞いはないかなど、自省自戒して、改めるよう努める。

④ 生きていることに感謝する

生きているだけで幸せだと考えて、どんな小さなことにも感謝する心を育てる。

⑤ 善行、利他行を積む

「積善の家に余慶あり」。善を行いい、他を利する、思いやりある言動を心がける。そのような善行を積んだ人にはよい報いがある。

⑥ 感性的な悩みをしない

いつまでも不平を言ったり、しかたのない心配にとらわれたり、くよくよと悩んでいてはいけない。そのためにも、後悔をしないくらい、全身全霊を傾けて取り組むことが大切である。

「六つの精進」を毎日実践し続けていけば、やがて自分の能力以上の素晴らしい人生が開けていくのではないかと思いますし、事実、私自身はそのようにして人生を歩んできました。

素晴らしい人生、幸福な人生、平和な人生を得たいと思うならば(中略)、この「六つの精進」を忠実に守ることが大切です。

(稲盛和夫著『稲盛和夫 一日一言』から)

「『可能性の扉を開く鍵』がきっと見つかる」 ☆科学技術高校☆